

第4号

平成28年8月1日発行

ないえ 議会だより

発行 北海道奈井江町議会 / 編集 広報常任委員会



おもいやり明日へ

Kindness for Tomorrow

主な記事

第2回定例会報告	P2
町政 ここを問う（一般質問）	P3~P5
議会懇談会報告	P6~P7
委員会報告	P8
議会の仕組・役割	P9
第2回臨時会・各種委員会報告	P10



<http://www.town.naie.hokkaido.jp/gikai/>

奈井江町議会

検索

第2回定例会で審議された議案

第2回定例会は6月14日から16日まで開催され、補正予算など全ての議案を可決しました。

その結果、平成28年度一般会計予算では、繰越金や道道維持補修費など1117

万円を追加し総額48億6518万円になりました。

病院事業会計では、サ高住の備品購入費530万円などを追加しました。

(議会傍聴者1名)

【議案審議結果】

報告	平成27年度奈井江町一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	全会一致
	奈井江町第6期まちづくり計画「前期実施計画」の変更について	全会一致
補正予算	平成28年度奈井江町一般会計補正予算 (繰越金6310万円の確定、道道の維持補修費630万円など)	全会一致
	平成28年度奈井江町国民健康保険事業会計補正予算 (繰越金171万円の確定)	全会一致
	平成28年度奈井江町後期高齢者医療特別会計補正予算 (繰越金43万円の確定)	全会一致
	平成28年度奈井江町下水道事業会計補正予算 (繰越金202万円の確定)	全会一致
	平成28年度奈井江町立国民健康保険病院事業会計補正予算 (サ高住の備品購入費530万円、大腸ビデオスコープ439万円)	全会一致
	平成28年度奈井江町老人総合福祉施設事業会計補正予算 (備品費21万円)	全会一致
	規約変更	北海道市町村職員退職手当組合規約など4組合の規約変更 (いずれも北空知学校給食組合の解散に伴うもの)
	中空知広域市町村圏組合規約変更 (組合解散のほか、全構成市町の合意により基金の処分を可能とする)	全会一致
人事	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて (任期満了となった笹木謙一郎氏の再任)	全会一致

特別行政報告 「医療、介護、福祉のあるべき姿を検討」

町長より、以下の特別行政報告がありました。

奈井江町では、町内開業医と開放型共同利用を基本とした医療、福祉の連携「地域医療包括ケアシステム」づくりを進めてきた。

今後、身の回りの世話などの生活支援を必要とする方が大幅に増加する見込みであることから、国は多様な主体による生活支援サービスを充実し、高齢者が地域で安心して生活を続けることのできる、新たな形の地域包括ケアシステムの構築を進めている。

今後の奈井江町の医療、介護、福祉のあるべき姿を検証し、民間との協力のもとで、奈井江にふさわしいトータル・ケアシステムの構築を目指していきたいと考え、町民有識者による、「奈井江町の医療・介護・福祉連携のあり方検討委員会」を立ち上げ、方向性を探ることとした。

町政 ここを問う

第2回定例会では3人の議員が一般質問を行いました。

体験学習の推進について

米づくり用の

土地の確保を！

【教育長】

水田の確保に向け学校と共ども努力する



遠藤共子

遠藤

①これまで小学校では、体験学習として米づくりが盛んに行われてきた。

しかし、近年の農業情勢も大きく変わり水田の大区画化などにより、子どもたちの米づくりに適した土地の確保に毎年苦慮している。

当麻町では、町が1.2ヘクタールの水田を購入し、「田んぼの学校」として、小学4年生から中学2年生まで、総勢280人が田植えに参加している。

また、新十津川町では、農業高校と連携し、米づくりの体験を行っている。

町として米づくり体験学習用の土地の確保について伺う。

②米づくりを行う上で、農業団体の方々は食育や担い手の育成などについて、高い見識と理解を持っている。JAや農業団体との連携の必要性について伺う。

教育長

①米づくりは、旧江南小学校からの伝統を引き継ぎ、本町の特色ある教育活動の一つと考える。

体験をおし、作物を作る大変さ、収穫の喜びを

感じ、地域の方々と交流することで、食の大切さを知り、豊かな情操と人間関係を築く力が育つと考えている。

体験農園では、学校とPTAが相談しながら、ご協力いただける農家の方にお願ひし、学習田の維持管理と、田植えや稲刈りなどのご指導をいただいている。

教育委員会としても学校、PTAと情報を共有し、米づくり体験学習のための水田の確保に向け、今後とも、農家のみならず、皆さんにご理解、ご協力をいただき、学校と共ども努力していきたい。

②5月27日の田植えには、PTA、保護者、JA職員、町職員など多くの方から協力をいただいた。

米づくりはもとより、様々な場面で関係団体を始め、地域のみならず、ご協力をいただきながら、子どもたちの教育活動を支えていきたい。



田植え体験

奈井江駅の管理について

駅舎内の清掃、掲示物や暖房の管理はだれが

町長 町民の利便性を守るためJRに強く申し入れ



三浦きみ子

三浦

5月1日から奈井江駅の窓口業務が、町内の民間企業に委託され、駅には「奈井江駅をご利用の皆様へ」という掲示物が張り出された。そこには、窓口業務の変更と「奈井江駅」の電話は以後使えないことが書かれてあった。

また、駅舎内の掲示物が撤去され、待合室が殺風景になり、壁の汚れも目立つ。「壁だけでも塗り替えることはできないか」、「観光ホスターを張ってもらえない

か」という町民の声を活かすことはできないか。

また、待合室正面の時計が撤去され、大変不便を感じている。利用者が安心して駅を利用するために、時計を設置することができないか。

町長

奈井江駅の「無人化」が撤回され、切符の窓口販売や駅舎の管理、JRを利用する乗降客の安全安心を確保する観点から、JR北海道の責任において、地元企業へ業務委託がなされた。

駅舎内の清掃と暖房等の管理については、受託業者が行い、駅構内の管理や時

計の設置はJR北海道の承認を得ないとできない。

5月以降、町民からの問い合わせがあり、そのつど担当者からJRに申し入れをしている。

学校給食について

浦臼町が無料化！奈井江町は

町長 子育て支援充実のため、来年度に向けて検討

三浦

4月の浦臼町長選挙において、「幼稚園、小中学校の給食無料化」を公約に掲げた候補が当選し、今年度から実施予定とのこと。

給食の無料化については平成26年の第4回定例会一般質問で、「子どもの貧困化対策として検討できないか」と質問した経過があるが、このたびの浦臼町の新たな動きに対し、広域で小中学校給食を実施している奈井江町として検討する時

駅舎の管理が、今後どのように変わるか注視しつつ、町民が利用しやすい駅をめざして、JR北海道と

管理駅のJR砂川駅に強く申し入れをおこないたい。

期ではないか。

町長

給食費の無料化は子育て世代の負担軽減を図る有効な施策だと認識している。

学校給食は浦臼町と広域で実施しているので、両町において公平性を期していく必要があると考えている。

当町では、十数年に渡る子育て支援のため、子育て中の保護者の方々とは度々意見交換を行い、高校生ま

での医療費無料化、認定子ども園の保育料軽減や、第3子以降の保育料無料化とともに、今年度から新たに特定不妊治療費負担軽減や、おたふくかぜ、ロタウイルスへの任意予防接種費用の無料化など、幅広い子育て支援の充実を図ってきた。

給食費の無料化については、町としても更なる子育て支援の充実を図る重要な施策と考えており、来年度に向けて検討していきたい。



学校給食の風景

利用料と国の支援について

【町長】所得に応じた利用料を検討



大矢雅史

大矢

① 国との協議内容について
② 療養病床削減への対応について

町長

① 住宅開設に向け高齢者が安心して暮らせる住まいの提供や定住化を促進したい。

多くの高齢者は年金収入のみで、利用料は所得に応じた4段階を考えている。国に対しては、住宅運営も含めた病院事業全体への支援を求め健全化につなげ

本町の業務遂行体制は

【町長】奈井江町地域防災計画で対応

大矢

① 「災害時業務継続計画」の内容について
② 計画6項目の現在の取り組み状況について
③ 防災計画との関係・整合性について

町長

① 災害で、人、物、情報等の利用すべき資源に制約を受ける状況化にあっても一定の業務を行えるよう準備し、即座に対応できるようにする計画で、重要6項目を取り入れる必要がある。
②・③については独立した計画でなくても良く、当町では、地域防災計画の中で包括することとした。

町の計画は平成26年に全

面改定しているが、重要6項目の内、3項目の記載がない。

代替庁舎の特定については、道の土砂災害基礎調査や、国の浸水想定見直しの結果を参考に、耐震化された施設の中から特定したい。

重要な行政データのバックアップについて、道路、水道管、下水道管等の図面が電子化されていないが、将来的には検討したい。
非常時優先業務の整理については、防災会議の中で十分協議していきたい。
また、町民の避難訓練とともに、役場職員の訓練も必要であり、今後より充実していきたい。

国が定めた「災害時業務継続計画」（重要6項目）

- 1、首長不在時の明確な代行順位及び、職員の参集体制
- 2、本庁舎が使用出来なくなった時の、代替庁舎の特定
- 3、電気、水、食糧等の確保
- 4、災害時にも、つながりやすい多様な通信手段の確保
- 5、重要な行政データのバックアップ
- 6、非常時優先業務の整理



活動にいかしたい

議会懇談会に46人参加

議会主催の懇談会を、6月3日、文化ホールで開催しました。午後1時30分からと6時30分からの2回行い、昼の部には18人、夜の部には28人の町民の方々に参加をいただきました。

全部は載せられませんが、参加者の声を報告します。

サ高住の利用料・病院経営との関係は

町立病院内にできるサービス付高齢者向け住宅（サ高住）の利用料はいくらか。また、病床数が減ることによる病院経営への影響は。

※この件に関しては、議会だより5ページに詳しく載っていますのでご覧ください。

町内循環バス 効率的な運行を

今後、高齢化が進むと、車の免許証返還が増え、循環バスの利用者が増える。より効率的な運行を検討してほしい。

日に何便かは砂川や美唄にも走ってほしい。



傍聴規定の再考を

傍聴者が写真を撮ったり、録音したりするには議長の許可が必要という規定だが、開かれた議会ということであれば、写真を撮って、議員の方々の活躍を発信したいと思っているので、規定を見直してほしい。

道の駅改修について 本来の機能いかして

昨年は屋根の改修、今年にはトイレを改修するが、「道の駅」本来の町の情報発信基地としての機能が発揮されていないと思う。どうしたら良いか議員も一緒に考えてほしい。

女性の参加 うながして

今日の参加者も女性が少ない（昼2人、夜8人）。町民の半分は女性なのだから、もう少し参加をうながしてほしい。



まち

の声

今後の議会 初の

こんなふうに行いました

1 議会報告

- ・議会の仕組みと役割
- ・委員会とその役割

2 平成28年度予算説明 (新規・拡充事業)

3 懇談会

※アンケート記入



ないえ温泉
ゆきどついた管理を

古い施設であることは理解しているが、清掃やサービス向上に努めてもらいたい。
町は外部のコンサルタントに経営分析を依頼したと聞くが、その結果を活かすよう議会も注視してほしい。

参加者からの一言

アンケートより

議員のみなさんの考え方も伝わりやすいし、町民の意見もわかりやすい場だと思います。今後もつづけてください。

(40代男性)

議会だよりは難しい内容なのに読みやすいです。「議員さんなんだから、行政さんだからもつと教えてください！」というスタンスではなく、町民が考える姿勢が必要と感じました。

(30代男性)

町の防災対策
役場耐震化・防災訓練は

奈井江町も活断層が近くであり、いつ地震が起きるとも限らない。
いざというときのことを考えると役場の耐震化はさしせまつた問題では。
また、連合区単位の防災訓練も必要ではないか。

身近な議会をめざして

奈井江町議会では、議会の活性化をめざして、昨年11月から「議会だより」を発行しています。さらに、町民のみなさんとの直接対話により、町民に開かれた議会を目指そうと、議会懇談会を開催しました。

初開催ということで、議会の仕組みや、委員会、予算の報告を中心に進めさせていただきました。

時間配分や報告・質疑などにおいて、説明不足の点多々あったかと思いますが、みなさんの声をしっかりと受け止め、さっそく町側に申し入れをしました。

さらに今後のまちづくりや議会活動に活かしていきたいと思えます。今後も年1回の開催を予定していますので、ぜひご参加いただけますようお願い致します。

また、今後はインターネットによる議会中継を検討するなど、活性化にむけた歩みをさらに進め、より身近な議会をめざしていきます。

まちづくり常任委員会

所管事務 調査報告

町民一人ひとりの健康寿命を延ばすため、検診への動機づけや啓発、呼びかけなどの受診率向上対策を講じ、健康相談などの強化に努めていることを評価する。

すこやか健診は、子どもたちの健康状態の把握、食育に大変意義のある事業であり、保護者や学校関係者との更なる理解と連携、受診率の向上につとめていきたい。

今後とも、第2次奈井江すこやかプラン21計画の推進をはかり、町民と共に健康なまちづくりに取り組んでいきたい。

生涯学習と図書館の 管理運営について

あらゆる世代の ニーズに答えて

【調査内容】

- ① 学校体育館の開放
- ② 子ども会議、町長と語る



図書館の視察

- ③ 公民館講座、寿学級、スポーツ教室等
- ④ 文化・スポーツの各種行事、芸術鑑賞
- ⑤ 図書館利用状況

【委員会からの意見・要望】

生涯学習は、新しい学びや社会参加にとつて、大切な取り組みである。

子どもたちが、体験を通じて活動する事業について、一層の充実に努めていきたい。

図書館は、豊かな心を培

う場として、大きな役割を担っている。引き続き町民に親しまれる図書館の運営に努めていきたい。

移住・定住事業について

積極的な情報発信に努力を

【調査内容】

- ① 住宅施策実施状況
- ② 人口動態内訳
- ③ 定住PR

【委員会からの意見・要望】

住宅支援制度の積極的な見直しや子育て支援などの総合的な移住・定住施策により、人口の社会的減少（転出入の差）が縮小したことは、大きな成果であり評価する。

更なる移住・定住の促進に向け、都市部への積極的な情報発信など、情勢の変化に応じて必要な見直しを図り、支援策の着実な推進に引き続き努力願いたい。

作況状況について 関係機関との情報の 共有や連携の強化

【調査内容】

- ① 農業者数と農地面積
- ② 水稲作況指数、品種別作付、等級別出荷状況
- ③ 主要青果出荷実績

【委員会からの意見・要望】

昨年は、本町のブランド米ゆめぴりかなど、計画出荷米は全量1等米となり、高品質米の割合は、昨年を大きく上回った。

主要青果では、農家数、作付面積の減少があるものの、水稲と共に市場、消費者から高い評価を受けており、農業者、関係者のため、今後も、農業情勢の変化、農家数の減少などが見込まれ、関係機関との情報の共有、連携を図り継続的な事業推進に努力願いたい。

すこやか健診は保 護者、学校関係者 との連携が重要

各種検診等の実施状況について

【調査内容】

- ① 小中高生すこやか健診
- ② 結核、骨粗しょう症、肝炎検査
- ③ 各種がん検診

【委員会からの意見・要望】

議会の仕組・役割

(議会懇談会資料より)

議会の仕組・役割

町民が主役

みんなが暮らしやすいまちをつくることを「まちづくり」といいます。まちづくりの主役は町民の皆さんです。町民のためのまちづくりを実現するため町民・町・議会は連携して、それぞれの役割をはたしています。みんなで情報を共有し、よりよいまちづくりを進めましょう。

町民

町民は、まちづくりの主役です。まちづくりに参加したり、町や議会が行う情報を知ることができます。町民はまちづくりのため、町や議会と協力し、まちづくりを進めます。

町民が主役

聴く

町民の意見に耳を傾けます。

説明する

情報を発信し町民に分かりやすく説明します。

町(役場)

町民の意見を聞いて、町の仕事に活かすのは町長。職員は町民の視点に立ち、計画的にムリ・ムダなくお金を使うよう公正な仕事をします。そして、まちづくりに関する情報を積極的に発信し説明します。

町議会(議員数9名)

行動する

安心・安全な暮らしのため調査・研究などを行います。

チェックする

町の大切なことを決め、町の仕事をチェックします。

提案する

町民の意見を町の仕事に取り入れるよう提案します。

北海道町村議会研修会

地域再生のカギは議論ではなく行動

7月5日、札幌コンベンションセンターにおいて、道内の町村議会議員が参加する研修会が開催された。

今年の講師は、日蓮宗・本證山妙山寺・第41代住職で、2001年に「スーパードラゴン」として、石川県羽咋市で高齢化率・離村率ともに一番高く、過疎化が進む神小原地区の再生に取り組む、「ローマ法王に米を食べさせた男」でも有名な高野誠鮮氏と、東京新聞・中日新聞論説副主幹の長谷川幸洋氏。

高野氏は「ひとを動かす、まちを動かす」をテーマに講演し、自分で決めた60万円予算で、最初は地域住民のほとんどが賛同してくれない状況の中、「発想の転換・議論することより行



動すること」等の意識改革をすすめる、地域農産物のブランド化に成功した事例を紹介し、参加者に「マイナスイ思考では成功無し・何もしない人は失敗もしないが成功もしない」「みなさんにもぎやかな過疎を目指して努力してください」とエールを送った。

長谷川氏は「日本の行方」政局・政治展望」のテーマで、テレビコメンテーターとしての経験を交え、日本の政局を縦横に語った。

第2回臨時会

4月26日開催

〈議案〉

■平成27年度奈井江町一般会計補正予算の専決処分
(899万円を追加し、総額49億8272万円)
■平成28年度奈井江町一般会計補正予算の専決処分
(ないえ温泉ろ過機などの修繕費679万円)

■平成28年度奈井江町一般会計補正予算
(病院事業会計への繰入金6590万円など)

■平成28年度奈井江町立国民健康保険病院事業会計補正予算
(病院改修に係る工事費など1億3741万円)

■奈井江町税条例などの改正
(議会傍聴者 0名)

委員会報告

Committee Report

議会運営委員会報告

4月26日
・第2回臨時会の議会運営について審議
6月9日
・第2回定例会の議会運営について審議

広報常任委員会報告

議会日より4号(8月1日発行)編集のため3回の委員会を開催

全員協議会報告

◆開催日
4月26日
・第2回臨時会の議会運営について審議
4月27日
・議会懇談会について
5月12日
・議会懇談会について
5月30日
・議会懇談会最終打合せ
6月7日
・第2回定例会の議案説明を受ける
6月14日
・第2回定例会の議会運営について審議
6月16日
・一部事務組合の報告

熊本地震義援金

奈井江町議会議員会は、

熊本地震支援のために、5万円を日本赤十字に届けました。



©2010熊本県くまモン

表紙の1枚

「ないえふれあいまつり」が7月9日に行われました。メインイベントの長縄とびに14チームが参加しました。



編集後記

わかりやすく、開かれた議会をめざして発刊した、議会広報誌も今回で4回目の発刊となります。

また、6月には、初めてとなる議会懇談会を開くことができました。町民みなさんと町のくらしや議会について、直接、質疑応答、意見交換ができたことは、大変意義深いものでした。

これからも、読みやすく充実した紙面づくりをめざしていきます。

みなさんのご意見、ご感想をお待ちしています。

発行 奈井江町議会 編集 広報常任委員会

委員長 三浦きみ子
副委員長 森岡 新二
委員 遠藤 共子
竹森 毅

第3回定例会 (予定)

■日 程 9月8日(木) ~15日(木)
■場 所 役場3階議事堂

どなたでも傍聴できます。
お気軽にお越しください。

問い合わせなどは議会事務局まで



65-2166



gikai@town.naie.lg.jp